

日吉台新聞

HIYOSHIDAI
平成28年6月1日

発行

日吉台学区自治連合会
日吉台学区まちづくり協議会

発行責任者
林 堅太郎
編集責任者
村澤 真保呂

題字は
4-11-2
梶谷清苑さん

空き家対策など3事業部新設

まちづくり協全体会議で決定



空き家対策など新事業部を決めるまち協全体会議

日吉台学区まちづくり協議会（林堅太郎会長）の28年度全体会議が5月22日、市民センターで開かれ、事務局側から提案された「空き家対策事業部」「日吉台マルシェ事業部」「緑のまち並み事業部」の3事業部の新設を承認した。

「やすらか」▽「すこやか」▽「はれやか」▽「なごやか」▽「にぎやか」――。会議では、林会長が、今後日吉台が進める5つのまちづくり指針の策定を報告。事務局

側からそれぞれの指針に沿って日吉台の課題と現状を報告したあと、まちづくりを長期展望した10年計画「日吉台ビジョン2026」を今年度中の作成を提案した。

同まちづくり協議会は、昨年度、新体制に移行、事務局体制を強化、一年かけ長、短期両面のまちづくりのあり方を検討してきた。長期展望とは別に、目の前に置かれるまちづくりとして昨年度、「子育て応援隊事業部」「日吉台新聞事業部」を

設置、活動を始めており、今回新たに3事業部設置の運びとなった。

新設される「空き家対策事業部」は、深刻化する日吉台の空き家問題の解決に向け、大津市のバックアップを受け、空き家データベースを構築するとともに、新住民獲得に

向けた方策を検討、実施する。「日吉台マルシェ事業部」は、町内で定期的にフリーマーケットを開催、住民による農産物や手づくり用品、中古品などの販売を行う。資源の有効活用と住民の交流を深めることを狙いとしている。

「緑のまち並み事業部」は、シンボルフラワールの選定、普及、街路樹の老化に伴う諸問題の解決を図るなど統一感のある美しいまち並みを守るために事業を行なう。

認知症不明者捜索体制構築へ

日吉台SOSネットワーク

学区自治連合会は、徘徊老人や、認知症の行方不明者を早期発見できる体制づくり「日吉台SOSネットワーク」を構築することを決め、近く日吉台社会福祉協議会、自主防災推進会、自主防災会など学区内の関係団体

と協議を始めることにした。昨年度、学区内では4件の行方不明事件が発見されたが、学区全域で見つけたが、学区全域で体制づくりはできていなかった。

高知大医学部の認知症行方不明高齢者の死亡事例調査によると、死亡事例19例中、徒歩の場合約7割が生活拠点から500メートル以内で死亡しており、「500メートル以内の捜索や早期通報が重要」と指摘している。

今年2月、自治連役員会で問題提起、学区広域で体制づくりを進めることになり、この5月、自主防災推進会に依頼した「日吉台SOSネットワーク事業」の原案が示された。原案は、行方不明対象者の家族の理解を得た事前登録者制を採用、自治連加盟者だけでなく学区全住民を対象を広げているのが特色。この原案を関係団体に提示、構築についての協議を開始する流れになっている。

元気はつらつグラウンドゴルフ

体振、老ク連初の共催大会

学区体育振興会（清水精一会長）と学区老人クラブ連合会（中西耕司会長）主催の第32回グラウンドゴルフ大会が5月15日、日吉台小学校グラウンドで行なわれた。

参加者らは、汗ばむ陽気のもと元気いっぱいプレー、校庭にボールを打つ乾いた打音を響かせていた。

これまで体育振興会と老ク連が、同じ時期に別々にグラウンドゴルフ大会を開いていた。一昨年来、経費と労力削減を目的に行事の統合化が検討され、今回初めて体育振興会と老ク連の共同開催が実現した。

大会には、小学生からお年寄りまで日吉台に住む住民約82人が参加。参加者のうち最高齢は、88歳の4丁目西、藤原昭三さん、最年少は小学1年生の2丁目南、高田一樹さんだった。参加者たちは、子どもたちを交えた6人1組で、8ホールのプレーを行い、ゴルフと同じように打数の少なさを腕と技を競った。時には、1打で設けられたホー

ルに入れるホールインワンする選手もあり、「ナイスイン」や「惜しい、残念」などの声も。会場は、終始、選手や応援の家族連れらの拍手や歓声に包まれていた。

競技の結果、大人（中学生以上）の部では、岡崎一郎さん（1北）がスコア19で、小学生の部では、4年生、久保田真由さん（1北）がスコア34でそれぞれ優勝した。また、大会で優秀な成績をあげた6人が日吉台学区の代表として、6月5日、皇子山総合運動公園多目的グラウンドで開催される「第16回学区対抗グラウンドゴルフ大会」に出場する。

優勝以外の成績は次の通り（敬称略）

熊本地震募金箱

日吉台支所に設置

今年4月、発生した熊本地震の被災者支援のため、学区自治連は、学区社会福祉協議会、民生児童委員協議会と共同で、日吉台支所に募金箱を置き、募金活動を行なう。募金箱を置くのは、6月30日まで。今回の義捐金の扱いで、領収書の発行ができず、寄付金控除の対象にはならない。市自治連を通じ、中央募金会、日本赤十字社に送付する。

編集長が代わりました

村澤 真保呂



昨年度より新聞の発行母体である「日吉台まちづくり協議会」の事務局長を務めてきましたが、

前編集長の野々口さんが自治連合会の会長に選ばれたため、急遽交代することになりました。現在

は大学教員として哲学や社会学を教えています。若い頃に数年ほど新聞記者をした経験があります。発刊時から日吉台新聞に関わり、上司に怒鳴られながら徹夜で記事を書いた青年時代を懐かしく思い起こしています。

日吉台に来てまだ7年目ですが、日吉台の人たちの住民意識の高さ、そしてコミュニティとして強い力をもっていることに、大きな感銘を受けています。

変わつた名前なのでよく不思議がられるのですが、古い日本語で「理想郷」という意味です。名前のとおり、日吉台を理想の町にしていきたいために力を尽くす所存です。今後とも日吉台新聞をよろしく願います。



青空のもと元気はつらつプレーするグラウンドゴルフ大会の参加

日常生活の困りごと支援

社協・ささえあいの会

足腰が弱り庭の草取りや買い物などで困っていませんか。学区社会福祉協議会（呉屋之保会長）は、高齢者や体が不自由な人を対象に、日常生活サポートや困りごとを解消する活動を展開している。同協議会のこのサポート活動「日吉台ささえあいの会」は、スタートして5年目。地域に住むお年寄りたちから「気軽に依頼でき、助かります」と感謝の声が寄せられている。

ささえあいの会が行なう活動は、庭の草取り、低木の刈り込み、庭木の水やり、障子の張替え、買い物代行、電球の交換、ごみ・古紙出しほか、草よけのシート張り、家具の移動、お年寄りの話し相手や見守りなどのユニークなものも。

困りごとがあれば、依り、庭木の刈り込み、障

頼の内容、希望日時などをささえあいの会指定の携帯電話に電話するだけ。困りごとを担当するサポーターから依頼主に電話があり、作業内容を確認後打ち合わせた日時に担当サポーターが訪れ、依頼作業を行なうシステム。作業は有料で、庭の草取り、庭木の刈り込み、障

子の張替えなら30分250円、買い物代行は、平和堂坂本店、サンライズ坂本店、アヤハデイオ堅田店の3店限定で1店あたり1回300円。依頼者がサポーターに直接現金か福祉ささえあい券で活動費を支払うことになっている。

受付電話は、携帯0801145917026（時間は平日の午前10時〜午後5時）。

同協議会が、ささえあいの会の事業をスタートさせたのは、平成23年8月。日吉学区は、年々高齢化が進み、庭の草取りや買い物など日常生活

にも支障をきたす世帯が増加、「解決策はないか」などの声があがり、検討を重ね、同社協が独自の事業として取り組むことになった。

現在、作業を担うサポーターには40人が登録。27年度は、219件（活動）の作業をこなした。活動で多いのが、ごみ

み・古紙出し 73 活動、草取り、草よけのシート張り 36 活動、庭木の刈り込み 30 活動など。日吉台学区の高齢化の波は困りごとを助けるサポーターにも及び、サポーターの高齢化も悩みのタネ。同会では、働き盛りのサポーターの登録も呼びかけている。

公園で繰り広げられる催しに歓声をあげ、心地よい汗を流した。

日吉台に住む子どもたち、ゴールデンウィーク期間中、思いっきり外遊びを楽しんでもらおうと子育て応援隊が、県社会福祉協議会の「こども未来基金助成事業」の補助を受け、企画した。

今回の冒険☆アソビ
 バは、子どもたちが青空
 のもとで思いっきり体を動
 かせるよう工夫をこらし
 た大木にロープをかけた
 ブランコ遊びやターザン

冒険☆アソ☆ビバ開催

青空の下、子ら歓声

ごっこ、ロープ遊びなど
する「木で遊ぼう」コー
ナー、ビー玉、石あて、
竹返し、リム回しなどを
行なう「昔遊び」コーナ
ー
青竹で水鉄砲などを作る
「工作」のコーナーが設
けられた。木で遊ぼうコー

日青台小チームが優勝

交通安全子ども自転車大津市大会



主催、「交通安全子ども
自転車大津市地区大会」
が5月14日、市立真野
小学校で開催。日吉台小
学校の代表として同大会
に出場した6年生チーム
が見事優勝、5年生チー
ムも堂々の3位に入り、
6年生の八田静樺さんが

個人の部の優勝を果たした。

優勝したのは、6年生の田村光さん▽八田静樺さん▽宮崎遙菜さん▽柳美希さんーの4人。3位に入った5年生は眞鍋晴菜さん▽眞鍋香香さん▽川島結良さん▽山本愛陽さんの4人。

同大会には、市内の小学校4く6年生7チーム28人が出場。交通規則や自転車の安全走行について問う20問の学科と、実技に挑戦。実技では、体育館に設けられたコー

スで行なわれ、審査員が厳しい目を光らせるなか参加者らは、安全運転とブレーキ操作などに日ごろの練習の成果を競い、会場には、「後方よし」「左よし、右よし」の参加者らの安全確認の大きな声が響いていた。

個人の部で優勝した八田さんは「1年間練習してきたおかげです。優勝できてうれしい」と喜んでいた。優勝した日吉台小は6月18日県立体育館で開催される県大会に出場する。

市立日吉中学校の2校でスタート。日吉中では、約30年前からすでにこの取り組みを実践、地域がささえる学校づくりを展開している。

総会には、校区内の自治連合会長、小学校PTA会長ら地域各団体の長、学校関係者ら約90人が出席。山本校長が「16年

日吉はひとつ

日盲コミュニティ・スクール総会

「日吉はひとつ」を合言葉に、地域ぐるみで市立日吉中学校（山本進校長）の学校運営を支える今年度の「日吉コミュニティ・スクール総会」が5月初旬、同中学校区内で行なわれた。

ルは、地域のさまざまな団体、長、保護者らの声や意見、提言などを学校運営に生かす仕組みづくり。大津市が平成27年度から市立皇子山中学校

このあと、同中学生会の生徒たちが取り組んだ「日吉子どもサミット」や教諭らの教育活動取り組みなどコミニティ・スクールの実践紹介も行なわれた。

日常生活でお困りのことがございましたら
お気軽にお電話ください!

☎080-1459-7026

受付時間 平日 10:00~17:00

日吉台ささえあいの会

(日吉台学区社会福祉協議会)

ささえあい活動一覧

活動内容	活動費	備 考
1 庭の草取り	250円/30分 (一人あたり)	ごみ袋をご用意ください。
2 庭木の刈込み	250円/30分 (一人あたり)	ごみ袋をご用意ください。 (木の高さは2m位まで)
3 障子の張替え	250円/30分 (一人あたり)	材料購入あれば300円加算
4 買い物代行	300円/1回 (1店あたり)	購入先はつぎの3店に限定 ・平和堂坂本店 ・スーパーサンライズ坂本店 ・アヤハヂオ宝田店
5 電球の交換	100円/1本	電球購入あれば300円加算
6 庭木の水やり	200円/1回 (30分程度)	庭木の水やりと同時に5分 程度の作業がある場合は、 300円
7 ごみ・古紙出し	100円/1回	玄関先まで出してください。 不燃物および大型廃棄物も ご相談ください。
8 安否の電話確認	無料	
9 話し相手・見守り	無料	
10 その他	250円/30分 (一人あたり)	簡単な大工、家具の移動、 建具の修理、屋内外の清掃 など気軽にご相談ください。 (材料購入あれば300円/1店 加算)

学区自治連まちづくり協議会の子育て応援隊は、ゴールデンウィークの3日間、日吉台4丁目の10号公園「古墳公園」で「冒険☆アソビ☆バ」を催した。このアソビ☆バには、期間中の3日間で約100人の子どもたちが参加、五月晴れの下、



工作コーナーでは、本物の青竹を使った水鉄砲づくりが大人気。完成するとさっそく水の掛け合いがはじまり、服はたちまちびしょぬれに。子どもたちは、公園中を走り回り「わーい、わい」。最終日には、鳥の巣箱を作り「はやく巣作りしてね」と古墳公園の木に巣箱を設置した。

応援隊では、夏休みに日吉台小で1泊2日のサマーキャンプを計画中。詳細が決定次第子どもたちや保護者らに伝える。

ナーでは、「まるで不思議の国のアリス」みたいと、大きな木のブランコに揺れながらうっとりとする女の子も。昔遊びのコーナーでは、ビー玉やリム回しなどアナログな昔の遊びに「難しいけれどおもしろい」と時間を忘れて夢中になる現代っ子の姿も見られた。

「日吉はひとつ」を合言葉に、地域ぐるみで市立日吉中学校（山本進校長）の学校運営を支える今年度の「日吉コミュニティ・スクール総会」が5月初旬、同中学校区内で行なわれた。

コミュニティ・スクールは、地域のさまざまな団体の長、保護者らの声や意見、提言などを学校運営に生かす仕組みづくり。大津市が平成27年

度から市立皇子山中学校

ルづくりを進めたい」とあいさつ。来賓の桶谷守・市教育長が「地域と家庭学校との連携、共働でおこなわれている新しいテーマの学校づくり。これまでの努力に感謝の意を表したい」と述べた。

このあと、同中学生会の生徒たちが取り組んだ「日吉子どもサミット」や教諭らの教育活動取り組みなどコミュニケーション・スクールの実践紹介も行なわれた。